

地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAHS 小委員会
第 24 期 第 1 回委員会 議事録

日時：2018 年 12 月 21 日 (金) 15:00～17:00

場所：日本学術会議 6 階 6-A (2) 会議室

出席：小池委員、杉田委員、寶委員、谷口委員 (オンライン)、河村委員、窪田委員、鈴木委員、立川委員、辻村委員、檜山委員 (オンライン)、堀田委員、山中委員

議題

1. 第 24 期 IAHS 小委員会委員長の選任 [資料 1]

小池委員 (第 3 部会員) から推薦があり、満場一致で辻村委員が委員長に選任された。

※ 資料 1-2 寶委員・沖委員の所属変更

2. 第 23 期 IAHS 小委員会の活動報告 [資料 2]

資料の通り報告がなされた。

3. 第 24 期 IAHS 小委員会の活動方針について [資料 3]

辻村委員長から資料にもとづき 9 項目の提案があり、以下の協議が行われた。議事録確認の際に修正版を示し、承認することとした。

- IUGG 等国際組織への日本人の参画が少なくなっている印象があり、委員長提案に賛同できる。(小池委員)
- JpGU との連携を明示するとともに、若手育成などの活動にも力を入れるべき。(谷口委員)
- IUGG の各コミッションの活動に関して次回報告してはどうか。また、学会間の合同大会の調整なども視野に入れて活動してはどうか。(寶委員)
- 23 期との連続性は？ (河村委員) → これまでは明文化されたものがなかったので作成した。
- 日本人が運営にかかわる国際会議等を積極的に後援していくべき (寶委員) → IHP の日本委員会についてはロゴがあるので、IAHS についても作ることにする。
- P4 の表のアップデートが必要 (小池委員→IFI)。

4. 第 24 期 IUGG 分科会第 2 回、3 回委員会報告 [資料 4]

辻村委員長・小池委員から資料にもとづき説明があった。

5. IAEA (国際原子力機関) トレーニングコースの後援について [資料 5]

辻村委員長から資料にもとづき説明があり、以下の質疑応答を経て本委員会として後

援することを承認した。

- 留学生の参加は可能か? (寶委員) →公式には現在国レベルで照会中だが、自由参加希望者がいればある程度は対応可能。
- 外務省の窓口は? (小池委員) →原子力政策室である。
- 資料5のIHPのフルスペルが違うのでは? (寶委員) →PlanをProgrammeに修正。
- 日本委員会の英語名は? →IHPに合わせてJapanese National Committee for ~とする。

6. IAHS 小委員会と日本 UNESCO-IHP 国内委員会との連携強化について [資料6]

辻村委員長・立川委員から資料にもとづき説明があり、以下について検討した。

- IHP トレーニングコース等への貢献 (まずはMLでの情報共有から)
- IHP 分科会との共同による National レポート的な Review 論文を HRL に投稿
- 防減災・水資源に関わる水科学・政策・人材育成を焦点としたシンポジウムの企画 (2019年5月頃を目標)
- Catalogue of Hydrologic Analysis フォローアップとしての学術シンポジウムの企画

7. 日本地球惑星科学連合 2019 年大会の IUGG セッションへの対応について [資料7]

辻村委員長から資料にもとづき説明があり、辻村委員長が IAHS パートの説明を担当することを承認した。

8. IUGG General Assembly (2019年7月8日~18日; カナダ・モントリオール) について [資料8]

辻村委員長から資料にもとづき説明があった。

9. その他

- IAHS Tison Award の推薦について、候補者がいるようであればメール審議を経て推薦することとする。また、次年度以降も推薦できるように、まずは積極的な投稿を促すようにする。
- IAHS の役職に関して谷口委員 (前々委員長)・窪田委員 (前委員長)・辻村委員長で過去の経緯も調べつつ、推薦の有無を検討する。場合によっては、ML 等で立候補を募る。